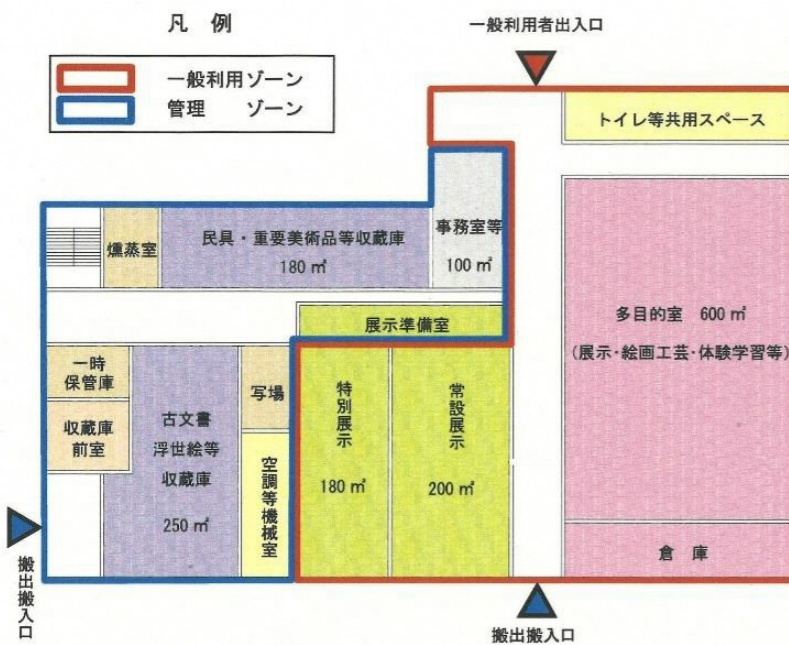


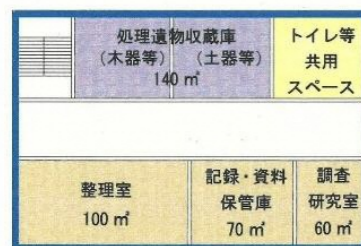
当初予定していた機能

歴史伝統館

- ・展示エリア（常設展示・特別展示）
- ・収蔵エリア（出土遺物・古文書・美術品）
- ・作業エリア（整理・調査・燻蒸・写場）
- ・交流・学習エリア（体験学習室等）
- ・管理等エリア（事務室・トイレ・EV等）



図一施設平面計画 1階



図一施設平面計画 2階

今後の対応について

関連施設の状況

本市に歴史資産を展示・公開する施設としては草津宿街道交流館があるが、常設展示の内容が近世の街道・宿場等を中心とした分野に限られており、また同館は仏像などの重要文化財等を適切に展示・保管する収蔵機能を備えていない。

今後の対応

草津市歴史文化基本構想（2019年3月策定）において、「歴史資産を展示・公開・活用する施設は、関連文化財群の整備と併せて、設置する方法などが考えられる」とした。

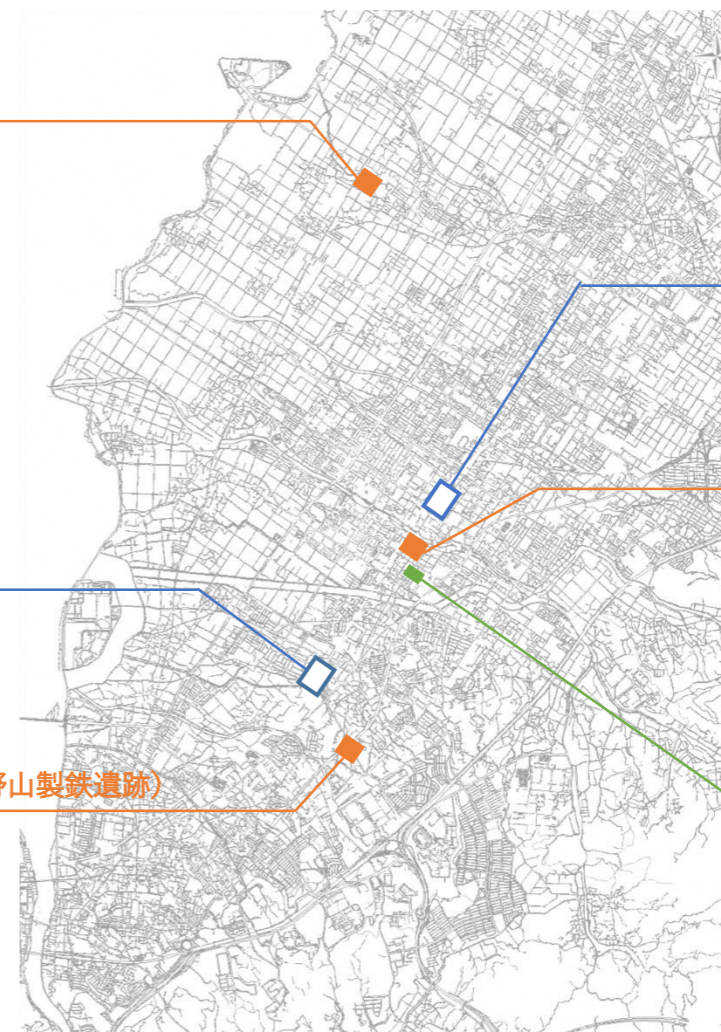
さらに、「ずっと2草津宣言」（市長政策集・2020）において「貴重な文化財（草津宿本陣・芦浦観音寺・野路小野山製鉄遺跡等）を後世に着実に引き継ぐ資料館をそれぞれゆかりの地に設け、観光資源としても活用します。」とされ、利用者の学習効果や集客面を考慮した立地とする必要がある。

史跡芦浦観音寺跡



南草津駅

瀬田丘陵生産遺跡群（野路小野山製鉄遺跡）



草津駅

史跡草津宿本陣



草津宿街道交流館

